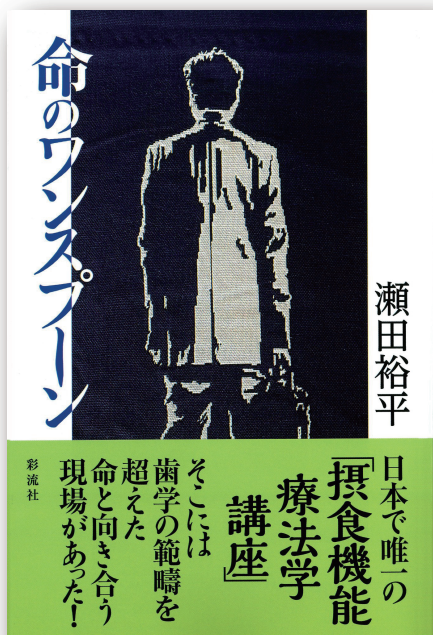


日本で唯一の「摂食機能療法学講座」

そこには歯学の範疇を超えた命と向き合う現場があった！



この物語は、一人の控えめで物静かな
医師の熱い信念が築き上げた、未来へ
の営みにつづく、壮大かつ爽快な人間
ドラマである。
(読者感想)

どの疾患も究極のところ摂食機能障害となるところから、摂食機能療法科は、専門科の枠を超えて多くの種類の疾患に遭遇しています。さらに私たちは歯学書にはない未知の領域に立つこともしばしばです。むしろそれが日常といっても良いと思います。

(2021年6月出版の著書より)

瀬田裕平

小説「命のワンスプーン」

2021年6月10日出版

彩流社・Amazon・楽天ブックスなど好評取扱中！



ある日肺炎で救急搬送されてきたひとりの老人。
彼は運ばれた北斗大学病院の消化器内科の元教授
入退院を繰り返しながら、命を全うした老人
教授の入院から死亡までの彼の死生観と
TeamDR 医局員たちの闘いのフィクション！！

■今後の出版予定

「命のワンスプーンII ～咲いてこそ花、枯れてこそ命、これぞ生きた証（仮）」

～あらすじ～

久しぶりに一人暮らしの父親のいる実家へもどった息子は、実家の惨状に慌てる。
そして急に襲ってきた介護という現実。不安に押しつぶされそうになりながら始まった介護だが、父親の癌が見つかり余命が宣告されたところから介護看取りへの覚悟が決まり、また妻の明るさにも助けられながら、
どのように最後を全うさせるかを葛藤する。
ある朝、ヘルパーに発見された父親。
その最後は息子にはどのように映ったのであろうか。

■執筆中「命のワンスプーン 短編集1～6」

お問合せ

OFFICE SPOON 上田千文

TEL：090-3330-1507

Email：ueda@office-spoon.com



書籍の
最新情報は
こちら！

